

茨木市水道事業ビジョン・ 経営戦略

2023-2032

安全と信頼を
未来につなぐ
水道の実現



いばらき童子

茨木市 水道部

はじめに

本市水道事業は、1927年（昭和2年）に認可され、1929年（昭和4年）に給水を開始して以来、人口の増加や都市の発展に伴う水需要の増加に対応するために、9次にわたる拡張事業を行い、安全・安心な水道水を供給してまいりました。

本市においては、彩都地区をはじめとする新規住宅開発地区への転入等により給水人口は増加しているものの、長期的にみると減少傾向に転じることから、水需要の減少に伴い料金収入が減少することが予想されます。一方、高度経済成長期に整備した管路の更新需要は、年々増加する状況にあり、水道施設においては水需要の減少に応じた適正配置や長寿命化を検討していく必要があります。また、今後発生が予想されている南海トラフ地震などの大規模災害への対応が求められるなど、水道事業を取り巻く環境は厳しさを増しております。

こうした厳しい事業環境に対応するために、この度「茨木市水道事業ビジョン」と「茨木市水道事業経営戦略」を統合し、新たに「茨木市水道事業ビジョン・経営戦略」として改定いたしました。

今後は、本計画に基づき、アセットマネジメント手法を活用した計画的な管路の更新や水道施設の適正配置と長寿命化の検討を進めるとともに、大規模災害等に対しては、重要給水施設への管路の優先的耐震化、十日市浄水場の浸水対策や複数水源化に取り組んでまいります。また、将来世代との負担の公平性を考慮しつつ、計画的な更新投資やより一層の経営の効率化を行いながら、適正に財源を確保し、本市水道事業として健全な経営を維持してまいります。

今後とも安全・安心な水道水を安定して皆さまにお届けするとともに、本計画の将来像の実現と基本目標の達成に向けて取り組んでまいりますので、これからも皆さまのより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2023年（令和5年）3月

茨木市水道事業管理者 福岡 俊孝

茨木市水道事業ビジョン・経営戦略

第1章 水道事業ビジョン・経営戦略改定の趣旨と位置付け

水道事業ビジョン・経営戦略改定の趣旨と位置付け	1
-------------------------	---

第2章 水道事業の概要

1. 茨木市の概要	3
2. 水道事業のあゆみ	4

第3章

「茨木市水道事業ビジョン」及び「茨木市水道事業経営戦略」の中間評価

「茨木市水道事業ビジョン」及び「茨木市水道事業経営戦略」の中間評価	6
-----------------------------------	---

第4章 水道事業の現状と課題

1. 給水人口と水需要の動向	9
2. 水質管理	11
3. 水道施設	16
4. 危機管理	25
5. お客さまサービス	37
6. 環境への配慮	40
7. 経営	42
8. 課題の整理	46

第5章 茨木市水道事業の目指す将来像と今後の施策

1. 目指す将来像と基本目標	47
2. SDGs達成に向けた施策の推進	48
3. 今後対処すべき課題と施策の体系図	49
4. 今後の施策	53

第6章 投資・財政計画

1. 投資・財政計画の振り返りと今後の見通し	73
2. 推計の前提条件及び投資・財政計画	77
3. 投資・財政計画の総括	83

第7章 フォローアップ（進捗管理）

フォローアップ（進捗管理）	84
---------------	----

資料編

1. 中間評価一覧表	85
2. 経営における現状分析	90
3. 投資・財政計画を踏まえた原価計算表	95
4. 水道事業ガイドラインの主な業務指標から見た本市の現状	96
5. お客さまアンケート	101
6. 送配水経路	106
7. 水質検査結果	111
8. 茨木市水道事業ビジョン・経営戦略改定までの経緯	112